
旅 ～長過ぎる人生の道の中で～

地球の星

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

旅　　〜長過ぎる人生の道の中で〜

【Nコード】

N3243C

【作者名】

地球の星

【あらすじ】

これまでに書いた詩の中から15個の作品を選び、解説をつけてCDアルバムの歌詞カード風にまとめました。すでに発表した2作品も収録されています。

Track 1 TABI

人は皆

旅をしながら生きていく
まだ見ぬ可能性を信じ
分かり合えた仲間達と
一つの夢を叶えるために

人は皆

旅をしながら別れていく
すでに見た可能性と別れ
これから出会う仲間達と
新たな夢を叶えるために

(英語バージョン)

Everyone is a traveler
We are coming true a dream
walking the long road
We believe in our possibility
hidden in somewhere
Let's walk toward the goal
till the time to reach it

Everyone is a traveler
We are going to say farewell
pending our long lives
We have to put the realized dream

e a m b e h i n d u s
L e t ' s w a l k o n t h e d i f f e r e n t w a
y t o f i n d t h e n e x t o n e

（解説）

人は生きる中で、誰かと出会い、行動を共にし、そしていつか別れていく。

そんな人生を旅する人の姿を詩にしてみました。
長さはかなり短いですが、その中に色々な気持ちを込めているため、僕としては結構気に入っています。

それでも他人に読んでもらうには、この長さでは寂しいと思ったため、英語バージョンを書き下ろしてみました。

T r a c k 2 M Y L O N G R O A D

やっとここまで歩いてきたけど

まだ終わりが見えないMY LONG ROAD

また新たな道を進んでいくのだろう

その度 思い出を心の中で増やしながら

小さい頃道端の所で よくひまわりの群れを見てた

変わらないなと思っていたけどいつの間にか大きくなった

人もそうなるんだよね 何かに夢中になるうちに

もうここまで成長したんだと

遅いようでやっぱり早い 戻らぬ時を過ごしながら

卒業までの残りの日々をいつの間にか気にしていた

永遠の命とは欲しいように思うけれど

別れだけは増やしたくなくて

一つの進路を見つけてきたけど

別の何かを失くしたMY LONG ROAD

君と過ごした時を増やしたいから

何だか時間がとても大事に思えてしまう

一つのこといきりがついて 久しぶりに君と遊べたよ

君のすすめを受けて 今船の上にあります

海の風にあたりつつ 写真頼まれたりして

短い時を満喫しています

帰りの電車で思い出すMY MEMORIES
新たな決意も生まれたMY LONG ROAD

やっとここまで歩いてきたけど

まだ終わりが見えないMY LONG ROAD
君も自分も立派な旅人なのかな？

喜びを 悲しみを 旅の全てを知った今

やっとここまで歩いてきたけど

まだ終わりが見えないMY LONG ROAD

また新たな道を進んでいくのだろう

その度 別れを涙こらえて 乗り越えて

ララララ…MY LONG ROAD

ララララ…MY LONG ROAD

（解説）

この詩は受験が終わり、卒業を控えた時の心の内を書いたものです。

長かった受験が終わってプレッシャーから開放され、これまで出来ずにいたことが、目いっぱい出来るようになった嬉しさ、さらには目前に迫ってきた別れの時を惜しむ気持ちをイメージしています。僕は小さい頃、自分でひまわりを育てて楽しんでいたこともあって、その光景も詩の中に活かしてみました。

この作品の続編が、次の「さようなら 僕らの築いた日々よ」です。

Track 3 さようなら 僕らの築いた日々よ

まだ先のことだと思い続けていた
未来なら未来のままでと いつも
駅の改札口で 切符持って立っていた
別れの先の出会いを求めて

さようなら 僕らの築いた日々よ
いつまでも 胸に残りますように

みんなで見てきた雄大な景色について
話しながら時間忘れていると
ふいにアナウンスが入り
話題を急に終わらせて
来ないでと思った電車に乗り込んだ

さようなら 僕らの築いた日々よ
いつの日か 成長して会えるかな？
長過ぎる 人生の道の中で
また誰と出会い 別れるのだろう

電車からの景色のように
記憶が現れ 消える

思い出が多い分だけ涙が溢れ出す
さようなら 僕らの築いた日々よ
いつまでも 胸に残りますように

長過ぎる 人生の道の中で
また誰と出会い 別れるのだろう

さようなら 僕らの築いた日々よ
いつの日か 成長して会えますように…

（解説）

この作品は「MY LONG ROAD」を書き上げた後に続き
という形で書き始めたものです。

「MY LONG ROAD」では別れを目前に控えた時の状況を、
こちらはいよいよお世話になった仲間達と、駅で別れていくシーンを描きました。

かなり実話っぽく書いていますが、実際は空想で書いています。
他の人に読んでもらった時に、

「まだ先のことだと思い続けていた 未来なら未来のままでいい
つも」

という一文がかなり印象的だったと言われたことがあります。

Track 4 旅する人へ 夢見る人へ

人は誰もがみな

旅をして生きていく

まだ見ぬ夢が叶う時を目指して

分かり合えた仲間と

力合わせ進んでく

果てしない未来へと続く道を

人は誰もがみな

いつか別れていく

叶えた夢にさよならを告げて

仲間との日々は

過去に変わっていつても

果てしない未来は終わりはしない

一人ぼっちになって泣いて過ごした夜も

人に認められず落ち込んだ日々も

生きてさえいればきつと乗り越えられる

それを教えてくれた君に「ありがとう」

人は誰もがみな

旅をして生きていく

まだ見ぬ夢が叶う時を目指して

分かり合えた仲間と

力合わせ進んでく

果てしない未来へと続く道を

人は生きる限り続く出会いと別れを
乗り越えながら旅人になる

（解説）

気づいた人も多いかもしれませんが、これは「ふたつの国のために」の第7話「揺れ動く心の狭間で」の最後の部分に登場する作品です。

元々は「TAB I」では表現しきれなかった内容を文章にしてみようという思惑から書き始めたもので、その後、作品の主人公ヒリユウの気持ちを付け加えて完成させました。

作中では、2人が離れ離れになる前日のシーンなので、ちょうど彼の気持ちがこの作品のテーマと合致しました。

そのおかげでそれまで未完成のままだったものを一気に仕上げる事が出来ました。

「ふたつの国のために」は、自分ではアニメ映画風に仕立て上げていまして、これは挿入歌という位置づけになっています。

Track 5 From Now On

ひとつだけ勇気が足りなかった
そして一人ぼっちになつたけれど…

窓の外を見つめて空を見上げ泣いてた
あの日は楽しかった 二人過ひとごした時は
勇気を振り絞り 夢を選んだ貴方と
夢を信じられずに 立ち尽ひとくした私

今さらとあきらめていた弱い心と別れて
今からでも会いたい もしも涙が止まるのなら

ひとつだけ勇気が足りなかった
そして一人ぼっちになつたけれど
何もかもをきつと乗り越えて
これから一緒に過ひとごしてみたい

これはきつと神様が私に与えた試練
だから乗り越えたい 走りながら思った
なつかしい声が聞こえて もう迷いはなくなった
妥協に逃げていた自分を抜け出して

先が分からなくても もしもまたけんかしても
もう離れたくない 神様約束するから

言えずに閉ざした心の扉

今確かに開き始めた

今日は永遠に出来ないけれど
未来が二人を待ち続けている

違いがあっても乗り越えたい
夢を二人で追いかけたい

勇気を持って言ったひとこと胸に秘めて

ひとつだけ勇気が足りなかった
そして一人ぼっちになったけれど
何もかもをきつと乗り越えて
これから一緒に過ごしてみたい

手をつないで言った二人の約束
ずっと忘れない記憶にしたい
今日は永遠に出来なくてもいい
未来が二人を待っているから

全ての悩みを乗り越えて

（解説）

この作品は「ふたつの国のために」の主題歌という位置づけで考えていまして、同作品のヒロイン、コロナが仲直りをテーマにした歌を作ってほしいという依頼を受けて、作ったものという設定です。出来れば作中で発表したかったのですが、エンディングが長くなり過ぎるという理由、ならびにこの作品がまだ未完成だったという理由で、結末発表のままでした。

だから、この場を借りて発表することが出来たことを嬉しく思っ

ています。

Track 6 君がいるから

心に決めて歩いてきたけれど
戻らぬあの日に帰りたくなつて
前も後ろも分からなくなる度
悔しくて泣いてた

心の森はいつしか荒れ地に
水さえ涸れた奈落の底で
生きる食料じふくを分けてくれた時
うれしくて泣いてた

懐かしい温かさがこの胸にあふれてくる
今を前向きに生きる人に包まれて
目の前の世界がいばらの道になつても
君だけはついて来てくれたよね

君がいなければ今の自分はなかった
それだけは確かだから
もう一人ぼっちで悩まない
君がいるから

心の砂漠もいつの日か元の森に
涸れた泉にも水が戻るように
あきらめた夢もきつと蘇生出来る
君だけは信じてくれたよね

「幸せは何処にでもある」と教えてくれた

それだけは忘れないから
もう来た道は悔やまない
君がいるから

君がいなければ今の自分はなかった
それだけは確かだから
もう一人ぼっちで悩まない
君がいるから

君がいるから
君がいるから

Get along, Don't leave me alone
e...

（解説）

この作品は僕の好きな映画「銀色の髪のアギト」からアイデアを得て作ったもので、映画のその後における、トゥーラの気持ちをかなりイメージしています。

映画が水や植物をテーマにしていることもあって、その表現をこの詩の中にも活かしてみました。

最後の英語はalongとaloneで韻を踏んでいます。

他の人にこの詩を見せた時、「食料」と書いて「ことば」と読む表現が印象的だと言われたことがあります。

この部分は掛け言葉として書きました。

Track 7 Unforgettable 君と歩んだ日々

今も覚えてるよ

君と過ごした日々

辛い時でも忘れなかった

あの日の仲間のことを

苦勞した時も

糧に変わったよ

迷いながら賭けた夢も

恋だと知ったぬくもりも

どんなに祈っても

かなえられなかった

時間ときの流れを止めて

ずっと一緒にいることは

それでもいいよ

それでもいいよ

君と歩んだ日々はきつと

心の中に残るから

いつまでも

不思議なことだよ

短い間でも

生まれた場所の異なる人と

一緒に旅が出来たこと

時代が過ぎてまた
君と会えたなら
あの日と同じ気持ちのままに
笑顔で語り合おうよ

どんなに祈っても
かなえられなかった
時間の流れを止めて
ずっと一緒にいることは

それでもいいよ
それでもいいよ
心を込めて祈る気持ちが
新たな道をくれたから
ありがとう

どんなに祈っても
かなえられなかった
時間の流れを止めて
ずっと一緒にいることは

それでもいいよ
それでもいいよ
冒険の日々 終わりはしない
心の中で続いている
いつまでも

（解説）

気づいた人も多いかもしれませんが、この作品は「歌声」のクライマックスシーンで登場するものです。

最初に書いたのは95年頃で、たった1日で作りました。

その後、内容を編集して一度は完成させましたが、映画「ブレイブストーリー」と出会ってから、さらに新しいアイデアを取り入れ、ブレイブにリンクするようにアレンジをして、最終的にこの形になりました。

Track 8 炎のSurvival Heroes

長いトンネル走り抜けても 気持ち是不安だらけ
地図も破れ コンパスもない 船の上にいるように

それでもきつとある 希望に満ちた僕ら
だから信じていようよ 「今が全てじゃない」と

倒れたならそれが最後 消え去るのみのSurvival
落ち込むわけにはいかない ただ前進あるのみ

息を切らして走り抜けよう 賭けと言う名の道を
たとえその先 新たな壁が待ち受けていても

誰かが見ていたら 笑われるかもしれない
けど待っているあなたが 勇気を奮い立たせるよ

あきらめないで立ち上げれ 炎のごときHeroes
最高に輝いているその日をイメージして
あなたに会うために あの夢叶えるために
まだ遠く 遠くに見える 向かうべき目的地へ

倒れたならそれが最後 消え去るのみのSurvival
落ち込むわけにはいかない ただ前進あるのみ
あきらめないで立ち上げれ 炎のSurvival Heroes
最高に輝いているその日をイメージして
あなたに会うために あの夢叶えるために

まだ遠く 遠くに見える 向かうべき目的地へ

（解説）

この作品は僕が辛い状況の中でもがいていた時の気持ちを描いたものです。

このサイトを通じて前向きなことを色々と並べていますが、僕自身も長い不遇な時期がありました。

あの頃にはもちろん戻りたくないですが、その記憶はこの作品を通じて心の片隅にとっておき、辛い時に思い出しては自分を奮い立たせています。

僕は楽譜が書けないので、頭の中で作曲しただけにとどめていますが、個人的にはYOSHIEKI張りのドラムプレイをイメージしています。

そのため、もし実際に演奏したら、ドラム泣かせの曲になると思います。

Track 9 もう会えないかもしれない君へ

君がくれた手紙を久しぶりに読みました
日付はずいぶん前になっています
夜景がとてもきれいな場所で撮った写真もある
君と一緒に出かけました

あの時が楽しかったね
だけど別れてからは
恋心を封印していた

どこかで元気に過ごしているだろう君へ
でも もう会えないかもしれない君へ
どんな言葉を言えばいいのだろうか？

あの夢探して走り続けるだろう君へ
そしてもう会えないかもしれない君へ
どんな言葉があっているのだろうか？

答えは出せないまま君を想っています

あの日若すぎて知らなかった恋心
少しずつ積み上げて覚えた自分がいる
傷つけるだけで別れたことを謝りたい
たとえもう一度だけ泣かせたとしても

どこかで元気に過ごしているだろう君へ
でも もう会えないかもしれない君へ

どんな言葉を言えいいのだろう？

あの夢探して走り続けるだろう君へ
そしてもう会えないかもしれない君へ
どんな言葉があっているのだろう？

今でも夢の中で君が現れます
誰より好きだったあの日の君が
多分もう2度と会えない君が

（解説）

この作品は、恋愛に関する自分の実体験からアイデアを得て作りました。

何とかしようとしながら、結果的には傷つけるばかりで別れてしまい、その後、どこでどうしているのかも分からなくなってしまったことの寂しさを表現しています。

作曲した場合には、ギターで寂しい雰囲気表現出来ればと思っています。

Track 10 Expanding Imagination

Expanding Imagination
I believe it will be the real
thing

幼い頃に聞いた話に憧れを抱いて
叶えてみたくなって僕は歩き出した
一人で越えられない 見上げる壁の前で
自分を信じることをためらったりしたけど

君が現れ 助けてくれた
そして 運命が変わりだした

Expanding Imagination
I can attempt again and again
夢を持つことは大切なお守り
Expanding Imagination
I believe it will be the real
thing

僕の気持ちを君に伝えたい

長い道の中で 幼い日を思い出す
終わりのない Hopeful Road
僕はその上にいる

生きることは旅をすること

さあ次の扉を開いて進もう

Expanding Imagination
Your smile let me encourage
夢を持つことは大切なお守り

Expanding Imagination
You believe it will be the real
thing

君の気持ちを僕に伝えてよ

君というなら どんな夢でも叶う気がする きつと

何年たつてもあきらめないよ
夢に手が届くその日が来るまで

Expanding Imagination
We can attempt again and again
夢を持つことは大切なお守り
Expanding Imagination
We believe it will be the real
thing

僕らの願いがみんなに伝わる

君というなら どんな夢でも叶う気がする きつと

If we are always together
There'll be nothing to fear
We can come true our dream
I'm sure

（解説）

書いたのは98年で、この中では比較的古い作品です。

僕はImaginationという単語が好きなので、これをタイトルに使いたいという思いから作りました。

作中の「君」は恋人や親友など、様々な人に当てはめられるようにしました。

当時僕は英会話にはまっていたため、そのノリもあって、英語が多めになっています。

ここでは発表しませんが、実は全英語バージョンも存在します。

Track 11 ずっと一緒に

どれくらい夢見ていたろう
本当の自分を見つけ出す日を
一人悩む日々はもう過去
ずっと一緒に君と歩こう

まだ北風が吹いていて雪が降りそうな大空
でも寒いとは思わない
君の手が温かいから

どれくらい待ち続けたろう
この広い地にたどり着く日を
辛かった悩みを乗り越え
ずっと一緒に君と歩こう

ほら太陽が顔を出した
まるで二人を祝うように

どれくらい夢見ていたろう
この目的を成し遂げる日を
長かった旅は終わっても
新たな夢を育てていこう

二人で大事に見守りながら

（解説）

この作品は、映画「天空の城ラピュタ」で、映画のエンディング後に、パズーとシータがゴンドアで再会した時をイメージしています。

ラピュタは子供の頃に大はまりした作品で、二次創作を含めて、自分で最初に物語を作りました。

映画「銀色の髪のアギト」を見た時には、ラピュタの内容を思い出して感動し、大はまりしました。（その後、アギトと同じ会社で作った作品だからという理由でブレイブストーリーを見て、こちらも大はまりしました。見事な連鎖でした。）

世間では韓国ドラマを見た日本人達が「おしん」を思い出して感動したというエピソードを聞きますが、その気持ち、分かる気がします。

この作品は当初「君と歩こう」というタイトルでしたが、ここに掲載する時に「君」という言葉が多くなったことが気になったため、ちよっと悔しかったですが、このタイトルにしました。

Track 12 君と見た夢

春のそよ風の中 黒い髪がなびいてる
いつからだろうか 気にしだしたのは
何の前触れもなくその日はやってきた
突然やってきた

声もかけなかった 手も振らなかった
ただ波のように押しのけていた
だけど今ではわがままも言える
そのままでいたい

YEAR IN AND YEAR OUT

この気持ち伝えたい 君だけに全て
たとえ笑われてもかまわない だから
絶対に絶対に忘れたりしない
誰よりも好きな君と見た夢を

手をつなぎながら一緒に行こうよ
秘密の場所へと

いつか泡となつて消えていくような
幸せはいらない 君さえいれば
出会えたあの日は今ではANNIVERSARY
けんかをして

I'LL NEVER LEAVE FROM YOU

君のこと君のこと 幸せにするよ

たえつまづいてもかまわない だから
絶対に絶対に忘れたりしない
誰よりも好きな君と見た夢を

この気持ち伝えたい 君だけに全て
たとえ笑われてもかまわない だから
絶対に絶対に忘れたりしない
誰よりも好きな君と見た夢を

絶対に絶対に忘れたりしない
誰よりも好きな君と見た夢を

（解説）

この作品は映画「耳をすませば」の聖司の気持ちを参考にしながら作り上げたもので、典型的なラブソング風になっています。

「耳をすませば」も僕の大好きな作品で、二次創作作品も作りしました。

文章にする予定は立っていませんが、せめて詩だけでもと思い、このサイトの中で発表しました。

Track 13 MISSING YOU

春の訪れを告げる 風の中を歩いていた
振り向くと地平線に夕日が沈んでいく

1年前を思い出すよ 最後に会った時のことを
全てがああの頃のまま ただあなただけがいない

あまりにも悲しくて 只々泣いていた別れ
それでも恋は死なない 全てなくしても
作ってしまった空白よりも これから得るものを見たい
残されたものを組み立て 生きてきたから

家に帰った後に 星空を見つめながら
あなたの好きな曲をじつと聞いていた

1年前を思い出すよ 聞いていて楽しかった
今の気持ちがどうか あなたに届きますように

あまりにも寂しくて 只々落ち込んだ時も
再び会うまでの試練だったなら
きつときつと乗り越えたい 精一杯に生きてみたい
その時に恋は強く生まれ変わるから

あまりにも悲しくて 只々泣いていた別れ
それでも恋は死なない 全てなくしても
きつときつと会えるよね いつかどこかで時を越えて

残されたものを組み立て 生きてきたから

MISSING YOU…

（解説）

この作品は映画「耳をすませば」の二次創作で、聖司と離れ離れになってしまった後の雫の気持ちを文章にしたものです。

独りぼっちになってしまった彼女の気持ちがどんなものだったのか、それを自作の作品や、ネット上に掲載されている他の作者による作品を読んで、色々推敲した上で書きました。

恋愛って楽しいことばかりだけでなく、こんな寂しさ、辛さも運んでくるものですね。

Track 14 CHIN - GU

「今の苦勞はきつと役に立つ」と
言われても信じられなくなつて

人とけんかしても

一人を選んでも

人は人のいる場所に戻るのさ

たとえ世界が豊かになつても

一人では幸せになれない

言葉に傷ついても

想いが違つても

人は他人がいるから生きられる

悩んだつていいさ

迷つたつていいさ

1度しかない人生を噛みしめていこう

分からない未来を難しく考えるよりも

分からない未来を楽しんで生きたい

Don't be afraid

We can do it

何でも語り合おうよ

前を向いて進もう

僕らはいつでも友達

今日も仕事して 勉強をして
同じような毎日だとしても

発想を変えよう
胸を張っていい

君は確かに前進しているから

昨日知らなかった

単語を今日覚えた

その小さな感動も噛みしめていこう

分からない未来を難しく考えるよりも

分からない未来を楽しんで生きたい

Don't be afraid

We can do it

A problem shared is a problem
halved

前を向いて進もう

Let's promise we are always go
od friends

分からない未来を難しく考えるよりも

分からない未来を楽しんで生きたい

Don't be afraid

We can do it

カッチイスマイオン ケンチャナヨ (一緒にいれば 大丈夫)

前を向いて進もう

ウリヌン オンジエラド チングイエヨ (僕らは いつでも 友達)

Don't be afraid

We can do it

何でも語り合おうよ

前を向いて進もう
僕らはいつでも友達

（解説）

ここで発表した15作品の中では、完成が最も遅い作品です（投稿数日前に完成しました）。

発表する作品を集めていくうちに、明るいものが何か少ない気がしたので、これを新たに書き下ろして付け加えました。

タイトルのCHIN・GUとは、「友達」という意味の韓国語で、友達の大切さをアピールする意図が込められています。

個人的には、誰もやらないことをやってみたいという思惑から、日本語、英語、韓国語という3つの言語を使ってみました。

Track 15 旅の思い出

あの瞬間からもうどのくらい
月日が経ったんだろう
あの頃の仲間達は
今はどこにいるのか

一つの立派な夢を叶えて
大きく羽ばたけたから
いつまでも忘れたくない
あの旅の思い出を

道に迷ったり 病気になったり
けんかもしたり だけどそんな時でも
わずかな水を分かち合えるような
強いきずながあった

真夜中に見たあの星空は
とてもきれいだっただね
あの夜に交わした言葉
いつまでも忘れない

青い海から昇る朝日を
見ながらそっと別れていったね
見せ掛けだけの笑顔を浮かべて
そっと泣いていたね

あれから一度も君達とは
会ってはいないけれど

新しい旅の思い出
作ってみせるから

いつの日かまた会えたなら
心から語ろうよ

（解説）

この作品は93年頃に作ったもので、今までに作った詩の中では最も古いものです。

最初からこれを最後に持つてくるつもりでいました。

実話っぽい内容ですが、実際は空想で書いています。

当時の僕は友達も少なく、一人ぼっちでいることが多かったです。毎日教科書に向かって問題を解き、問題が友達代わりという寂しい日々を送っていました。

だからこそ、そんな寂しさを紛らわすために、詩の中で友達に恵まれ、楽しそうに過ごし、そして別れを惜しむことが出来る人の姿を描いていました。

この作品をこのサイトに発表する時に、あの頃と比べて今の自分は本当に変わったなと、つくづく実感しました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3243c/>

旅 ～長過ぎる人生の道の中で～

2010年10月8日23時13分発行